



組合員と関係者で開催した『食の祭典』の様子

特集 繋がりが生んだ物語

ふるさと納税が紡いだ事業者間連携の軌跡

昨年6月、「大崎町ふるさと特産品振興事業協同組合」が、

事業者間の連携を基にした共同販売や意見・情報の交換を行いながら、地域振興への寄与を目的とし設立されました。

また、当組合は町からふるさと納税PR事業も受託し、地域の産業に大きな影響を与えています。

今月号では、組合の成り立ちや活動内容、町が全国に誇れるふるさと納税に着目し特集します。



▲チーム大崎で参加したイベントでの様子

チーム大崎の誕生

ふるさと納税を通して、町内事業者同士の情報共有が活発となり、新たな取り組みやコラボ商品の開発などが行われるようになりました。

また、様々な物産展やイベントに参加する中で、「自分の商品以外でも商品の説明が出来る」という人材が育ち、それは自然に「チーム大崎」と呼ばれるようになりました。

大崎町ふるさと特産品振興事業協同組合のメリット

全国各地で開催される物産展などへ組合として出店するため、町内の物産品を効率よくPRできます。

また、チーム大崎として形成された事業者間連携を更に密にし、そこから生まれる新しい取り組みや特産品の開発・販売まで結びつけることにより、町内産業全体の活性化が期待できます。



◀設立総会時の様子。事業者間の更なる結束を誓いました